

所管部長等名	教育部長 北岡 博
所管課・係名	生涯学習課 第一公民館係
課長名	宮崎 和喜

評価対象年度	平成23年度
--------	--------

(Plan) 事務事業の計画

事務事業名	赤星公園管理業務	「主たる事業の執行状況調」における件名又は事業名	公民館施設整備事業	
会計区分	一般会計			
予算の事業名	赤星公園管理運営費			
事業コード(大-中-小)	39 - 14 - 01			
施策の体系 (八代市総合計画の実施計画における位置づけ)	基本目標(章)	第2章 郷土を拓く人を育むまち		
	施策の大綱(節)【政策】	②生涯を通じた学びのまちづくり		
	施策の展開(項)【施策】	①生涯学習社会の構築		
	具体的な施策と内容	(2)生涯学習施設の整備		
根拠法令、要綱等	八代市赤星公園条例、八代市赤星公園条例施行規則			
実施手法 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 全部直営                      ● 一部委託 <input type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> その他( )	法令による実施義務 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 義務である <input checked="" type="radio"/> 義務ではない	
事業期間	開始年度	合併前	終了年度	未定

(Do) 事務事業の実施

事務事業の概要	目的	対象(誰・何を)	成果目標(どのような効果をもたらしたいのか)
	内容 (手段、手法等)	赤星公園の施設及び管理業務	市民の教育、学術、文化の向上、市民相互の交流を目指し、市民の自発的な諸活動の場や交流の場を提供する施設として、生涯学習につながる主体的な諸活動が期待できる。
事業開始時点からこれまでの状況変化等	家庭や学校の外で、児童から青年、成人、高齢者に至るまですべての年齢の人が、学習や研修、趣味に興じたり、楽しむ機会を提供することができる生涯学習のための施設として、管理・保守・点検を進め市民のより良い利用に供する。		
事業開始時点からこれまでの状況変化等 赤星公園(水竹居の館)は、俳句などに通じた赤星陸治の旧邸宅であり、地元住民の学習の場、交流の場として、旧鏡町が平成15年に整備したものである。隣接する六角堂(昭和8年建立)は市指定の有形文化財に指定されている。合併後は、社会教育施設として自主公民館クラブ、陶芸教室などに利用されているが、年々利用者数は減少してきている。現在では、施設の管理業務を地元鏡町宝山区へ委託している。			

コスト・成果指標の推移

		単位	22年度決算	23年度決算	24年度予算	25年度見込	26年度見込	27年度見込	
コスト	総事業費	千円	2,968	2,605	2,499	2,499	2,499	2,499	
	事業費(直接経費)	千円	2,268	1,905	1,799	1,799	1,799	1,799	
	財源内訳	国・県支出金	千円						
		使用料・手数料	千円	82	116	110	110	110	110
		市債	千円						
		その他( )	千円						
	一般財源	千円	2,186	1,789	1,689	1,689	1,689	1,689	
概算人件費(正規職員)	千円	700	700	700	700	700	700		
	正規職員	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	従事者数	人							
	臨時職員等従事者数	人							
成果指標 (もたらそうとする効果の数値化)	指標名	指標設定の考え方	単位	22年度実績	23年度実績	24年度見込	25年度計画	26年度計画	27年度計画
	① 利用者数の推移	施設利用者が多いほど生涯学習の場として有効利用されていると考えられるため指標として設定した。	人	6,557	4,759	4,500	4,500	4,500	4,500
	② 鏡校区内の自主講座クラブの利用率	登録している自主講座クラブ(鏡校区)のうち、赤星公園を拠点施設として利用するクラブの割合が高いほど生涯学習の場として貢献していると考えられるため指標として設定した。	%	18.75	16.67	22.22	20.00	20.00	20.00
				利用クラブ	3	2	4	4	4
				登録クラブ	16	12	18	20	20
(記述欄)※数値化できない場合									

**(Check) 事務事業の自己評価**

事業実施の 妥当性	①	【計画上の位置付け】 事業の目的が上位政策・施策に結び つきますか	A 結びつく B 一部結びつく C 結びつかない	B (現状分析等) 平成15年3月、旧鏡町において町民の学習の場、交流の場として整備された赤星公園(水竹居の館)は、鏡町出身の著名人赤星陸治の旧邸宅であり、合併前から地元住民の心の拠所として親しまれてきている。 合併後も、社会教育施設として自主公民館クラブ、陶芸教室などに利用されているが、利用団体は鏡校区の一部の団体に限られている状況で、施設の認知度も低いことから、年々利用者は減少している。
	②	【市民ニーズ等の状況】 市民ニーズや社会状況の変化により、 事業の役割が薄れていませんか	A 薄れていない B 少し薄れている C 薄れている	
	③	【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当 ですか(国・県・民間と競合していま せんか)	A 妥当である B あまり妥当でない C 妥当でない	
活動内容の 有効性	①	【事業の達成状況】 成果目標の達成状況は順調に推移し ていますか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	B (現状分析等) 施設の規模や隣接道路からの進入路が整備されていないことなど、公民館主催事業も開催しづらい状態である。 校区公民館としての施設がない鏡校区では、代替施設として公民館講座や自主公民館クラブなどで利用されているが、新たな利用団体は見込めない。 使用料減免団体が多く、使用料収入の増加も期待できない。
	②	【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を見 直す余地はありますか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	
実施方法の 効率性	①	【民間委託等】 民間委託、指定管理者制度の導入な どにより、成果を下げずにコストを削 減することは可能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	C (現状分析等) 施設管理を地元一括して委託しているものの、依然として鍵の開閉など公民館主事に関わらねばならないケースが多く発生していることから、委託業務の内容、委託料の算出方法の見直しなどの検討が必要だと思われる。 また、委託先である鏡町宝山区と指定管理者導入への可能性などを協議していく必要があると考えられる。
	②	【他事業との統合・連携】 目的や形態が類似・関連する事業と の統合・連携によりコストの削減は可 能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	
	③	【人件費の見直し】 非常勤職員等による対応その他の方 法により、人件費の削減は可能です か	A できない B 検討の余地あり C 可能である	
	④	【受益者負担の適正化】 受益者負担に見直しの余地はありま すか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃 止)	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	

**(Action) 事務事業の方向性と改革改善**

今後の方向性 (該当欄を●)	○ 不要(廃止)	(今後の方向性の理由) 社会教育施設としての利活用を拡大するのであれば、大幅な施設の改修(道路からの進入路の整備等)が必要であろうと思われる。 近隣に市農事研修センターがあり、多くの団体は公民館の代替として利用している。施設の規模、利便性や利用頻度などから判断すれば、赤星公園の利用者拡大は望めない。 今後は地元と協議を行い、地元鏡町宝山区と指定管理者導入など、地元住民の意見も取り入れて、施設の有効活用策を探りたい。
	○ 民間実施	
	● 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等)	
	○ 市による実施(要改善)	
	○ 市による実施(現行どおり)	
	○ 市による実施(規模拡充)	

改革改善内容	<b>今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果</b>		<b>改革改善による期待成果</b>																						
	社会教育施設としての発展的な利活用は困難であるため、新たな活用策の検討が必要であると考えられるが、寄贈された旧家屋という施設の特異性から、利用団体や開催できる講座は今後も限定される状態である。 また、他施設への転換も困難であることから、地元住民の愛着等を考慮し、施設管理を委託している鏡町宝山区との指定管理者導入への協議を検討して、経費削減に繋げたい。 併せて、今後進められる住民自治組織の拠点施設の一つとして活用できないか、地元及び住民自治担当課を交えて検討していきたい。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td align="center">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下		
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持	○																							
	低下																								

外部評価の実施	無	実施年度
---------	---	------

決算審査特別委員会における意見等	(委員からの意見等)
------------------	------------